



健康いちばん


ろっこう医療生活協同組合
**2010年
新年号**

神戸市灘区水道筋6-7-11/TEL.078-802-3424/発行人:村上 正治/編集:広報委員会

●組合員数/18,271人 ●出資金金額/453,381,000円 ●平均出資額/24,814円(2009年12月17日現在)

**ろっこう医療生活協同組合
設立30周年**

二〇一〇年はろっこう医療生活協同組合設立三〇周年の記念の年です。記念すべき三〇周年の新年号の健康いちばんは、これまでの歩みを写真でふりかえるとともに、生協の節目の年に生まれた組合員さんに登場していただきました。

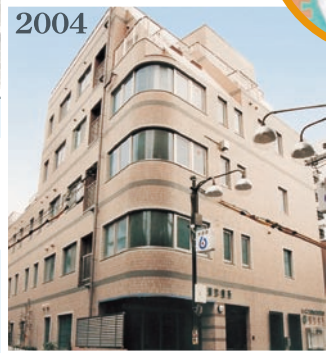
ろっこう医療生活協三〇年のあゆみ

**2009年
高齢者住宅開設**

NPO花たばによる高齢者住宅の開設。


**2004年
灘診療所移転・有床化**

長い間の念願だった、灘診療所の移転大型化。12床の病床を持つ有床診療所、CTなどの大型設備を導入。


**2001年
東雲診療所開設**


◀「中央区にも診療所を」の声にこたえて東雲診療所を開設、初めての自前の土地建物で

**2000年
法人名称変更
あおぞら・あんず開設**

ろっこう医療生活協同組合に法人名称を変更。ホームヘルプサービスあおぞら、2ヶ所目の訪問看護ステーションあんずを開設


**1997年
すみれ・つどい開設**

初めての介護事業所として、デイケアつどいと訪問看護ステーションすみれを開設


**1995年
阪神淡路大震災**

生協本部、六甲道診療所は全壊、灘診療所も半壊の被害を受けた阪神淡路大震災。組合員の安否確認行動には全国の医療生協から応援に駆けつけてくれました。


**1992年
六甲道診療所開設**


◀「灘区東部に第2診療所を」とオープンした六甲道診療所

**1986年
灘診療所移転大型化**

広岡ビルの2階に移転し、重装備化した灘診療所


**1980年
法人設立**

法人の設立総会は河原自治会館で開催、発足当時の組合員は342名でスタート。翌年、オープンした最初の灘診療所は20数段の階段を登って入り口にたどり着く診療所でした。


 「今年もたくさんの人に
かわいがってもらいます。」
植田陽咲ちゃん

 「5メートル
およげるようになる」
朝倉優気くん

 「かんごしさんに
なりたいです」
中川真琴ちゃん

 「バレエでまだ少しだけ
へたなのを練習して、
もっとうまくなって、
トゥシューズを
はけるようにしたいです」
田中万柚子ちゃん

 「今年はお小遣いを貯めるぞ!」
坂本周平くん

 「志望校合格に向けて
頑張ります!」
飯山直樹さん

 「最後の高校生生活を
悔いなく過ごしたいです」
長谷川彩乃さん

 「家族4人健康で過ごす。
ゴルフのスコアも80を切るぞ」
長谷川琢磨さん

 「医療事務の資格を
取るように頑張ります」
仙元彩子さん


ふっこう医療生協のこれからを みんなのチカラで

— 医療生協との関わり

広報委員…生協創立三〇年にあたっての新春対談ということで、役員の方と今期新任で着任された理事さんを中心にお話をうかがっていきたいと思います。よろしくお願いします。

まず、それぞれ医療生協との関わりや期待することなどをお話いただきたいと思います。

大崎…もともと明石にいたんですが、神戸に越してきて、六甲道診療所に「生協」と書いてあるのを見てコープの会員証をもっていたんですね。それで加入したのが最初のきっかけです。それから新春のつどいに参加したら、先生も職員もみんなソーラン節を踊るので写真を撮る人がいなくなってしまつて、「写真撮ってください！」って頼まれたのがきっかけで色々関わるようになったんです。そのうち「ハイキングサークルしましょう」とか「支部長やつてください」とか頼まれてだんだんそのまま（笑）。

医療部会の支部長研修会や新任理事研修なんかで全国の方の交流する機会があつて面白いなあと思つて関わるようになりました。

武田…私はセラバンド体操のインストラクター養成講座をうけて、もちろん自分の体にとつてもいいんですが、今、都賀川でまちかどセラバンド体操をしているのですが、あんな風に地域

のなかで健康づくりをしていくことがとてもいいことだなと思つています。

最初は病院なのに健康な人ばかりになったら商売にならんのかなあと思つていたんですよ。でもすこしずつ医療生協とかかわつていくうちに、この生協は組合員が支えているんだという事がわかつてきて、今は医療生協の健康観と方針にすごく魅せられています。



▲武田春代（理事）

豊崎…患者としては長いのですが、組合員の活動に関わるようになったのは最近ですけど、とても楽しく活動させてもらっています。支部長もしているので忙しくてますが、がんばりたいと思つています。



▲豊崎朱美（理事）

木村…姉（豊崎）と一緒に活動させてもらっています。医療生協の活動ではいろんな方にお会

いできるのでとっても勉強になります。色々なお話が聞けるのが私にとっては一番の魅力かもしれませんね。

大島…定年して何しようかなあ〜と半年くらいボーっとしてたんですが、そんなときに新春のつどいをチラシをみて家内と一緒に参加してみたんですね、ちよつとお年寄りばかりだなと思つてただけで、そこからだんだん組合員センターものぞくようになって、そしたら色々なサークルとかやつて、人との交わりがあつて、お年寄りも自分のしたいことをして元気にしているのを見て、こういう支えあい、ふれあいの場っていいなあと思つたんです。



▲大島修（理事）

— 小規模多機能への期待

広報委員…みなさん様々な形で医療生協にかかわつてきてもらっているのですが、さて、昨年から新五カ年計画がスタートして、今年はその中心のひとつでもある小規模多機能型居宅介護事業（臨時総代会・議案ダイジェスト参照）がスタートする年になります。新しい事業へのチャレンジとなるのですが、み

なさんの期待や思いといったところではいかがでしょうか？

武田…認知症サポーター養成講座を受けましたが、これからたくさん認知症の方がでてくると思うし、小規模多機能のような事業はとても必要だと思います。また、認知症の方を支えるボランティアももっと必要になつてくると思います。小規模多機能が介護を受ける方のためだけでなく認知症についての勉強会なんかを通じてボランティア活動の拠点になつていけたらいいと思います。



▲木村由美子（理事）

豊崎・木村…近くに小規模多機能ができることはとてもうれしいです。地域住民交流室もできるといふことなので、小規模多機能を拠点にして組合員の活動ももっともつと広がればいいと思ひますね。

広報委員…地域の拠点になつていけばいいということですね。加藤さんは中央区で「ふれあい広場さえずり」という会を立ち上げておられますが、関連していかがですか？

加藤…二〇〇五年に地域のお年

寄りの方が気軽に集まつてくれるような場をつくりたい思つて、二宮神社で「さえずり」の活動を始めました。三年たつて、今毎月二〜三くらいのお見えになつています。物づくりもしたりしますが、お茶を飲みながら楽しくおしゃべりをするのが好評でやつと根付いてきた感じですね。

— これからの事業展開

広報委員…では、特に事業面では金丸専務はこれからの展望をどのように考えていますか？

金丸…事業でいうとキーワードは「外来」「認知症」「住まい」この三つだと思つています。なんといいっても医療の生協だから「外来」は外せない、磨いても磨き足りない分野だと思つています。

「認知症」はこれからは縁が切れない課題、みんなのテーマになる、職員にとつても、地域活動にとつても、患者さん自身にとつても、地域でささえることが必要になつてくるテーマだと思つています。



生協設立から30年

2010年は生協設立30周年の節目の年です。ろっこう医療生活協同組合(当時は灘医療生協)の設立総会が開催されたのが1980年(昭和55年)の11月30日、翌年の1月に灘診療所がオープンしました。当時は組合員が342名、職員4名でのスタートでした。30年の節目の年にあって、生協役員による新春対談を行い、今後の展望について話し合いました。

最後の「住まい」は花たばの高齢者住宅のイメージだけでなく、多様な形を追及したい、それも医療生協だけでなく、多方面の色んなところと連携しながら取り組んでいかなければならないと思っています。

広報委員・村上理事長はそのあたりはどうですか？



▲村上正治 (理事長)

村上…昔は診療所がヒマでしたから(笑)、私が医療生協に来た頃は医者が班会に行っていた。一日中外来の単位がなくて、午前中は歩こう会に行つて、昼からは班会に行くなんてこともしていましたから、ずいぶん今とは違いますよね。診療所の役割もずいぶん変わってきていると思います。たとえば医療生協に来てから五、六年間は死亡診断書を書くことがなかったのに、最近は何に一人から二、三人くらいは死亡診断書を書くようになってきた。昔は健康な人が相手の医療というか、病気をみつけて、病院に送つてというのが大きな役割だったのが、今は病院に送った人が帰ってくる、介護もあつて付き合ひが続くようになった、認知症がでたら小規模

多機能なんかで生活全体をみていくことになる、診療所や医療生協の役割も変わってきていると感ずますね。

—これからの組合員活動

広報委員…組合員活動・地域活動の面ではこの三〇年間にずいぶん組合員も増えましたし、活発に取り組んできていると思うのですが、いかがでしょうか？



▲金丸正樹 (専務理事)

金丸…よく私が思うのが震災までは「ずき焼き」、それ以降は「寄せ鍋」という感じです。地震までは健康、病気につながるようなことが活動の中心だった。病気になつたら組合員さんも寄つてきてくれるけれども、そうではない時は関係ないよというか、肉がメインのすき焼きだったんですね、でもそれが地震でそれまでの組織が全部潰れてしまつて、復興委員会なんかを中心に主婦の方がたくさん関わつてきてくれるようになった。病気や健康に関係なくてもいろんな活動を通じてたくさんの方がかわつてくれるようになった。肉はなくてもたくさんの方が寄つてきていい出汁をだしてくれている、

誰かがいないとダメだったのが、すこしずつたくさんの方が関わってくれている、今とてもいい感じの「寄せ鍋」になってきているんじゃないでしょうか。

村上…六甲道診療所の谷口先生

に組合員もどんどん増えて一人で診療所するのはしんどくないのか聞いた時に、「今は診療所があるから組合員が増えているんじゃないやなくて、人の輪が広がって組合員が増えているから別にしんどくないや」と言っていました。医療生協の取り組みで人のつながりが作つていける、生協らしい組織になってきているんだと思います。どこでも組合員さんが周りの人を誘つて組織するようになってきたから医療生協の将来はきつと明るいと思いますよ。ただ、世代交代というか次世代の担い手づくりは確かに課題ですね、初代の班長さんとか班員さんを灘診療所の病棟や在宅で看取るようになってきた、今は二世代目の世代でしようか、次の世代をつくつていかないといけないですね、もちろん同じように医師も高齢化しますから次の世代の医師づくりもしないといけません。



▲大崎雅勝 (理事)

大崎…若い人ももちろんですけど、もつと男性にも参加してほしいですね、秋から男の料理教室を始めたんですがなかなか広がらなくて苦労しています。

広報委員…団塊の世代対策ですね。もつと男の人が関われる取り組みをふやしていきたいですね。

武田…コムコム(医療部会発行の機関紙)で見たんですが「健康ファイル」の取り組みをろっこう医療生協でも取り組んでみたいというと思うんです。健診の記録とか、診療所での血液検査の結果とか、飲んでいるお薬の情報とか、けんこうクラブでの健康チェックの記録などを一冊にまとめておいて健康状態と病気の経過とかがわかるファイルなんですけど、記事を読んでとてもいいと思いました。

村上…すすんでいるところはリビングウイル(生前意志)を記入したりしているところもあるみたいですね。血圧手帳とかお薬手帳とか情報がバラバラになつてることが多いから健康ファイルが組合員さんに普及できたらいいですね。けんこうクラブでも毎回健康チェックをするところもあれば、もともとサークル活動だったところなんかはあんまり健康チェックをしていなかったりするから、健康ファイルがきっかけに健康チェックがすすむきっかけになつたらいいですね。

豊崎…健康チェックの後のフォローも実践していくのは難しいですよ、私の班会ではライフコーダの記録を持ち寄ったり、健康チェックの記録を持ち寄ったりしているんですが、みんなが活用できるファイルがあるといいですね。



▲加藤嘉津子 (理事)

加藤…去年の十一月号の健康いちばんの虹の人のコーナーに載っていた、小樽の冷蔵庫に救急の時に役立つ情報をいれておくのも面白いと思いました。あんなことも行政なんかと一緒にすすめていければいいと思います。

広報委員…医療生協のなかだけではなく地域も巻き込むような健康づくりの取り組みが広がってほしいですね。幅広いテーマでしたが将来にむけていい話し合いができたと思います。ありがとうございました。





「東京タワー」

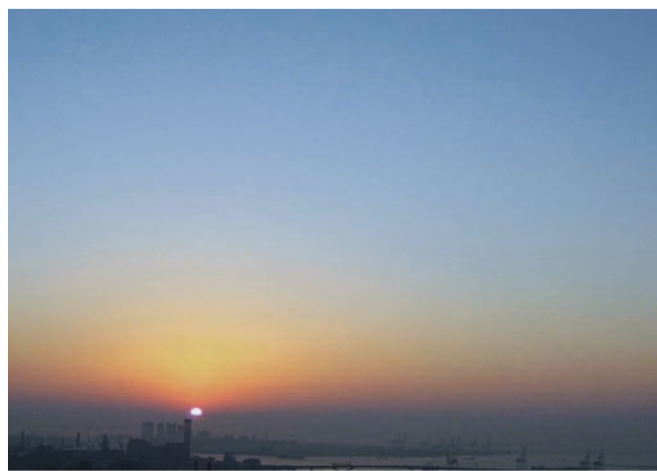
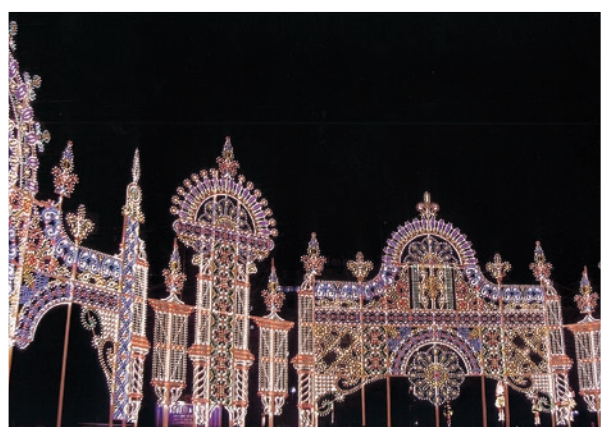
藤田潔（摩耶支部）

「ちいさなカメラマン」
浦田数葉（六甲南支部）
お母さんと一緒に撮影会に参加しました

「光」

木村美知子（河原支部）

麓の駅ツェルマットを出て見える名峰マッターホルン

「今日も元気」
植野真行（上野支部）
摩耶登山道 青谷にて

「2009・ルミナリエ」

松永真司（六甲北支部）



「黄昏」木村ユミ子（東灘支部）

日本の「エーゲ海」と言われる岡山県牛窓にて



「寅」山田ツヤ子（灘中央支部）

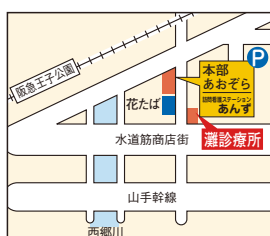
インフルエンザワクチンの 全世代への費用助成を求める署名 ご協力ありがとうございました。

9661筆を集約しました。
年明けの市議会に提出の予定です。
まだお手元に署名用紙のある方は生協本部または最寄の診療所
までお届けください。

- 第八回理事会報告
（二〇〇九年二月一九日）
- 学習講演
「けいはん医療生協の取り組みに学ぶ小規模多機能型居宅介護事業について」
生協強化月間のまとめの件
臨時総代会の件
議案審議
準備の進め方
- 三、今後の理事会専門委員会のあり方の件
四、二〇一〇年度方針・予算づくりの件
五、年度末の活動課題の件
六、経営課題の件
七、その他

灘診療所

通所リハビリテーション「つどい」
電話078-801-6665
神戸市灘区水道筋6-6-3
<http://www.nada-cl.jp>



入院随時(12床)

※日曜日と祝日は休診

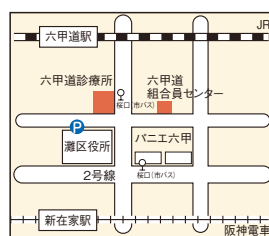
受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	△
午後 2:30~ 4:30	○	○	○	○	○	○	△
午後 4:30~ 7:30	○	○	○	○	○	○	△

ろっこう医療生活協同組合

〒657-0831 神戸市灘区水道筋6-7-11
TEL 078-802-3424 FAX 078-802-1649
URL: <http://www.rokko-mcoop.or.jp/>
e-mail: nakama@rokko-mcoop.or.jp

六甲道診療所

電話078-811-0555
神戸市灘区桜口町4-5-12
<http://www.cl-rokkomichi.com/>
9ヵ月乳児健診〈予約制〉



受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	△
午後 4:00~ 7:00	○	○	○	○	○	○	△

お引越時は住所変更届をお願いします。出資金についてのお問合せや医療生協へのご意見、ご要望はこちらまで。

通所リハビリテーション
訪問看護ステーション
ホームヘルプサービス
ケアプラン

東雲診療所

電話078-262-7236
神戸市中央区東雲通1-4-24
<http://shinonome-cl.jp/>



〈介護保険事業〉ケアプラン・通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションなど

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	△
午後 4:00~ 6:30	○	○	○	○	○	○	△

つどい
あんず
あおぞら
医療福祉相談室

TEL.078-801-6711
TEL.078-802-3661
TEL.078-805-1023
TEL.078-805-6877